

Cr⁶⁺-D 6価クロム（低濃度）

発色：無色→淡赤→赤紫

測定原理：ジフェニルカルバジド発色／膜濃縮吸光度法

測定範囲：0.003 ～ 0.100 mg/L (ppm)

試薬：DPR-Cr⁶⁺D R-1 (パック)、R-2 (液体)、R-3 (液体)

測定時間：測定液調製後 0分

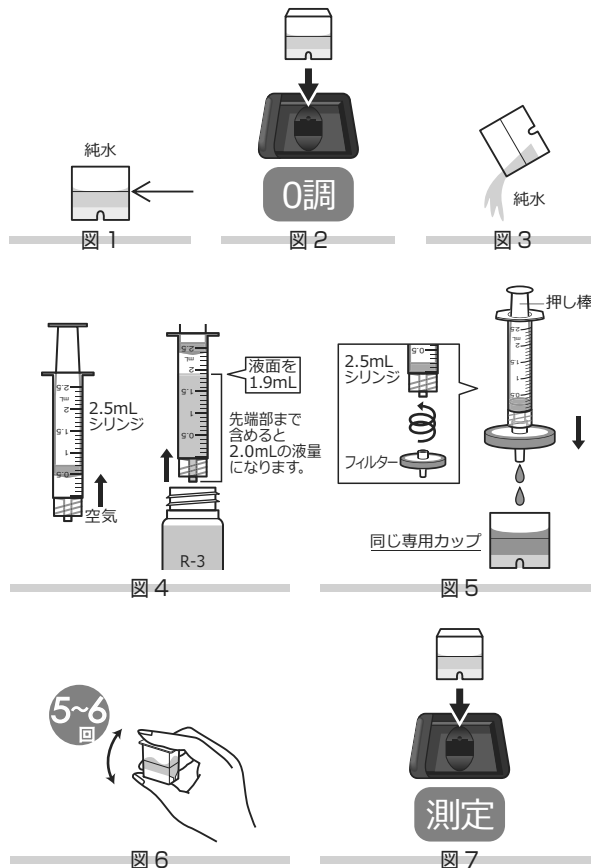
使用方法：「水質計用 DPR 試薬 6価クロム・低濃度」(型式：DPR-Cr⁶⁺D) に付属の使用法をお読みください。

セル：専用カップ

使用波長：542 nm, 580 nm, 670 nm

測定方法

- 1.【Cr⁶⁺-D】を押します。
- 2.【決定】押し、測定画面に切替えます。
- 3.「膜濃縮」の操作までは、水質計用 DPR 試薬6価クロム・低濃度(型式：DPR-Cr⁶⁺D) に付属の使用法(「測り方」①～⑥)に従います。
4. 純水(または水道水)を専用カップの標線(1.5mL)を超えるように採ります。(図1)
5. 専用カップをセルボックスに入れ、【0調】を押します。(図2)
6. 専用カップを取り出し、専用カップ内の水を完全に捨てます。内壁に水滴が残存する場合は、ティッシュペーパー等で吸い込んで除去します。(図3)
7. 2.5mL シリンジに空気を約0.5mL 吸い込んでから、続けて R-3試薬を吸い込み、液面を1.9mL の目盛に合わせます。(図4)
8. 7. の2.5mL シリンジに濃縮済のフィルターを取りつけ、液を1滴ずつゆっくりと押し出し、全量を専用カップに回収します。シリンジ内の液を半分ほど出し終えたら、一度押し棒を最上部(2.5mL の目盛)まで引き戻します。再度、残りの液を1滴ずつゆっくりと出し、押し棒が最下部まで到達して液を出しきったら完了です。(図5)
9. 専用カップに蓋をして、強く押さえながら5～6回振り混ぜて均一にし、蓋をはずします。(蓋をしたままだと液が漏れてきます。) (図6)
10. 専用カップをセルボックスに再びセットし、【測定】を押します。(図7)
11. 濃度が表示されます。



注意

1. この方法では「水質計用 DPR 試薬 6価クロム・低濃度」で得られた測定液の吸光度から、6価クロム濃度を求めます。操作に関する注意は試薬に付属の使用法をご参照ください。
2. R-1試薬添加後は pH1、R-2試薬添加後は pH2、測定液は pH3～4 です。pH が2～9 の範囲をこえる検水は希水酸化ナトリウム溶液または希硫酸等で中和してから測定してください。
3. 試薬添加後の液は強酸性になりますので、測定中は保護具を着用し、ゆっくり操作してください。各シリンジとフィルターとのネジ部接続が緩いと、液漏れするおそれがありますのでご注意ください。
4. 検水の温度は15～30℃で測定してください。

共存物質の影響

「水質計用 DPR 試薬 6価クロム・低濃度」に付属の使用法をご参照ください。

試薬に関するお知らせ

「水質計用 DPR 試薬 6価クロム・低濃度」に付属の使用法をご参照ください。
測定液は pH3～4 です。